

取 扱 説 明 書

テ ー ブ ル コ ー チ KOACH T 500-F

この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください

- 本製品の設置は、この取扱説明書をお読みのうえ行ってください。
- 本製品は作業者から発生するコンタミナントにより清浄空間の清浄度に影響を受けます。
クリーンスーツや手袋等を装着したうえでお取り扱いください。
- 本製品の操作、保守点検は、安全を確保するため、取扱説明書の内容を良く理解した
うえで行ってください。
- お読みになった後は、保証書とともに関係者がいつでも見ることのできる場所に大切に
保管していただき、必要に応じて再度お読みください。
- ご不明な点は販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
お問い合わせ先の住所、電話番号等はこの取扱説明書の裏面に記載してあります。

この取扱説明書は安全上重要な内容に  危険、 警告、 注意を記載しています。以下が定義です。内容をよく理解したうえ、本文をお読みください。

 危険	記述内容に従った操作や処理を守らないと <u>生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性が高い</u> ことを意味します。
 警告	記述内容に従った操作や処理を守らないと <u>生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性がある</u> ことを意味します。
 注意	記述内容に従った操作や処理を守らないと <u>身体に軽微な被害または物損事故を起こすおそれがある</u> ことを意味します。

 危険	
●濡れた手で電源の接続、取りはずし、運転スイッチの操作を行わないでください。 感電のおそれがあります。	
●雰囲気中に引火性、爆発性のガスが存在する場所で使用しないでください。 火傷、けが、または破損のおそれがあります。	
●アース接続してください。 アース接続しないで漏電した場合は、火災・感電のおそれがあります。また静電気による機器の故障及び誤作動の原因となります。	
●点検、清掃またはフィルタ交換をするときは、必ず運転スイッチをOFFにして、電源プラグを抜いてください。 感電、またはけがのおそれがあります。	

警告

- 電源プラグは、埃が付着していないか確認し、ガタつきや埃がたまらないように刃の根元まで確実に差し込んでください。
埃がたまった状態での使用や、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、単相 100V 以外では使用しないでください。
タコ足配線等で定格を超えると、発熱により火災の原因となります。
- 異常時（異音、異臭、過熱等）は、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店に連絡してください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因となります。
- 本製品を改造しないでください。
事故、火災のおそれがあります。
- 本製品が形成する清浄空間内で、コンタミナントを発生させないでください。また、有害物質やウィルス・細菌を扱わないでください。
本製品によってコンタミナント、有害物質、ウィルス等が周囲環境に拡散されてしまいます。
- 本製品に水がかかる場所では使用しないでください。
電気部品に水がかかると感電のおそれがあります。

注意

- 7 ページに記載の環境条件を守って使用してください。
故障の原因となります。
- 本製品の吹出開口面にある有孔板は非常につぶれやすい構造になっています。手や棒等で叩く、突く等の行為は絶対に行わないでください。
有孔板に傷やへこみがつくと、気流の発生を阻害し、性能を著しく低下させる原因になります。
- 梱包された状態での運搬は二人以上で行ってください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 開梱、設置及び移設は二人以上で行ってください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 水平で丈夫な場所に設置してください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品を設置場所に置く際に、本製品の底面全体が設置面に乗っていることを確認してください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品を移動する場合は、電源ケーブルをはずしてから移動させてください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品を設置するときに、手や指を挟まないように注意してください。
けがのおそれがあります。
- 2 台の本製品を正対させてください。
本製品の位置や角度を変更すると、性能を著しく低下させる原因になります。

注意

- 吸気口の近くに障害物を置かないでください。
吸気口がふさがれて、性能が低下する原因となります。
- 本製品の上にのったり、物をのせたりしないでください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品に衝突しないでください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品の電源ケーブルに重いものをのせたり引っ掛けたりしないでください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品が形成する清浄空間に、空調等の外乱気流を直接当てないでください。
清浄空間を維持できなくなるおそれがあります。
- 使用する前に、フィルタが取り付けられていることを確認してください。
フィルタが取り付けられていないまま運転した場合は、清浄空間が形成できず運転が停止します。
- 本製品を運転後、フィルタサインを確認してください。赤ランプ点灯の場合はフィルタ交換を行ってください。
清浄空間が形成できないおそれがあります。
- 本製品を運転後、定格風速ランプの点灯を確認してから作業を行ってください。
運転スイッチをONにしてから、または設定風速を変更してから、気流が安定するまで約30秒の時間がかかります。また、フィルタサインの赤ランプ点灯の場合は定格風速ランプが消灯します。定格風速ランプが点灯していないときは、清浄空間が形成されていません。
- 本製品の背面カバーをパチン錠4カ所で確実に固定してください。
パチン錠が1カ所でもはずれていると清浄空間が形成できません。
- 使用する前に、パーティクルカウンターで清浄度を確認してください。物品等を清浄空間内に配置する場合は、その状態で清浄度を確認してください。
清浄空間が形成できないおそれがあります。【5. 清浄度の確認】(21 ページ～)参照。
- 清浄空間内に作業者の手や頭を入れる体勢をとる場合は、体からのコンタミナントの発生を防ぐ衣類や手袋等を装着してください。
清浄空間を維持できなくなるおそれがあります。
- フィルタ交換の際は、弊社指定のフィルタを使用してください。
異なるフィルタを使用すると、性能が低下するおそれがあります。
- フィルタ交換の際は、マスク等を着用してください。
使用済みのフィルタに付着した微粒子を吸引するおそれがあります。
- フィルタ交換や定期点検の際に背面カバーを閉じるときは、指を挟まないように注意してください。
けがのおそれがあります。
- ヒューズ交換の際は、本書に記載している仕様のヒューズを使用してください。
異なるヒューズを使用すると、故障するおそれがあります。【7.(1) ヒューズ交換】(32 ページ)参照。
- 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグに埃がたまり火災・感電の原因となることがあります。

目 次

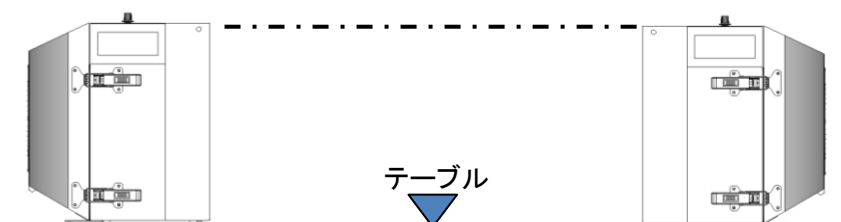
1. はじめに	P.6
2. 構成と仕様	P.8
(1)構成	
(2)各部の名称	
(3)仕様	
3. 設置・移設	P.12
(1)設置	
(2)移設	
4. 運転	P.17
(1)設置状態の確認	
(2)使用前の確認	
(3)運転・停止	
(4)使用方法	
5. 清浄度の確認	P.21
6. 点検・フィルタ交換	P.24
(1)定期点検	
(2)フィルタ交換	
7. 故障と異常時の処置	P.31
(1)ヒューズ交換	
8. その他	P.33
(1)外形図	
(2)消耗品リスト	
9. 保証について	P.35

1. はじめに

- 本製品は国内向けの卓上で使用するタイプのオープンクリーンベンチです。
- 本製品は、周囲がISO クラス 1～8 の環境下で、ISO クラス 1 の清浄空間を形成します。
- 本製品は送風する清浄空気を対向させることで清浄空間を形成するため、必ず 2 台の本製品を正対させて使用してください。

◇ 正対: 下図のように高さと位置を合わせて設置します。

(真横から)



(真上から)



- 本製品をご使用の前に、下記の工具及び測定器を用意してください。

工具及び測定器	仕様	掲載ページ
(-)ドライバ	# 1	32
パーティクルカウンター	最小可測粒径 0.1 μ m	23

⚠ 注意

- 下表の環境条件以外では使用・保管しないでください。
故障の原因となります。

【環境条件】

周囲温度	5～30℃
周囲湿度	85%RH以下(結露のないこと)
保管温度	5～50℃
電源環境	単相 100V $\pm$ 10%
雰 囲 気	・屋内(腐食性ガス、引火性ガス、電気系統に悪影響を及ぼすオイルミスト等のないこと)^{※1} ・外乱気流の影響を受けない場所^{※2}

※1 本製品は浮遊微粒子を除去する装置ですので、ガスには対応していません。また、オイルミスト等が電気系統に影響して、故障の原因となることがあります。

※2 外乱気流とは、本製品からの吹出し気流に影響を及ぼす空調の気流や、開放した窓からの気流等を指します。

【外乱気流の対策について】

外乱気流の対策には、遮蔽板等で外乱気流の向きを変える方法があります。

2. 構成と仕様

(1) 構成

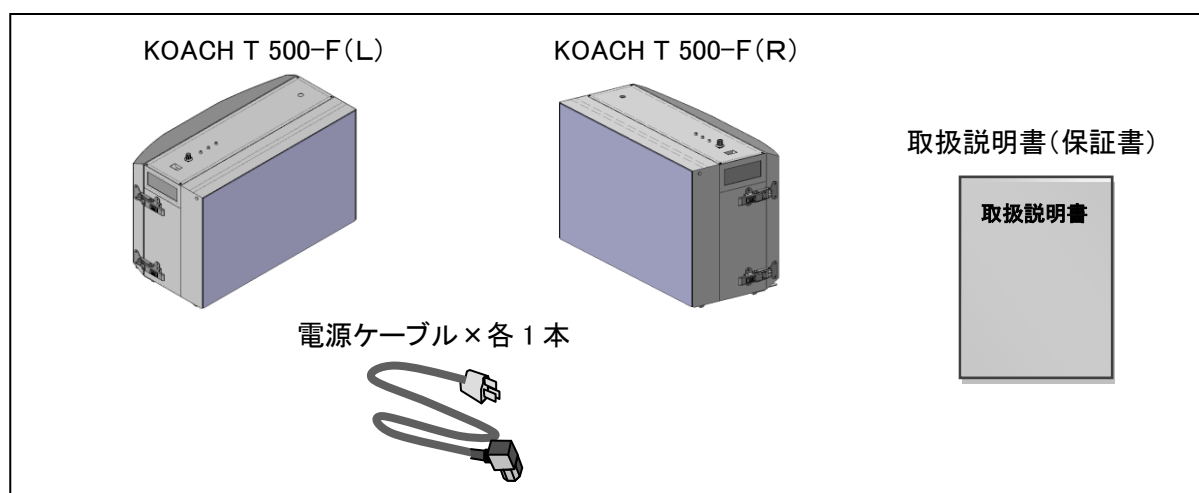
「テーブルコーチ KOACH T 500-F」は、2 梱包にてお届けします。

構成は以下の通りです。

KOACH T 500-F (R)		1 台
メインフィルタ	FERENA	1 個
前処理フィルタ	ELE-PRE	1 個
同梱品	電源ケーブル	1 本
	取扱説明書(保証書含む)	1 冊

KOACH T 500-F (L)		1 台
メインフィルタ	FERENA	1 個
前処理フィルタ	ELE-PRE	1 個
同梱品	電源ケーブル	1 本

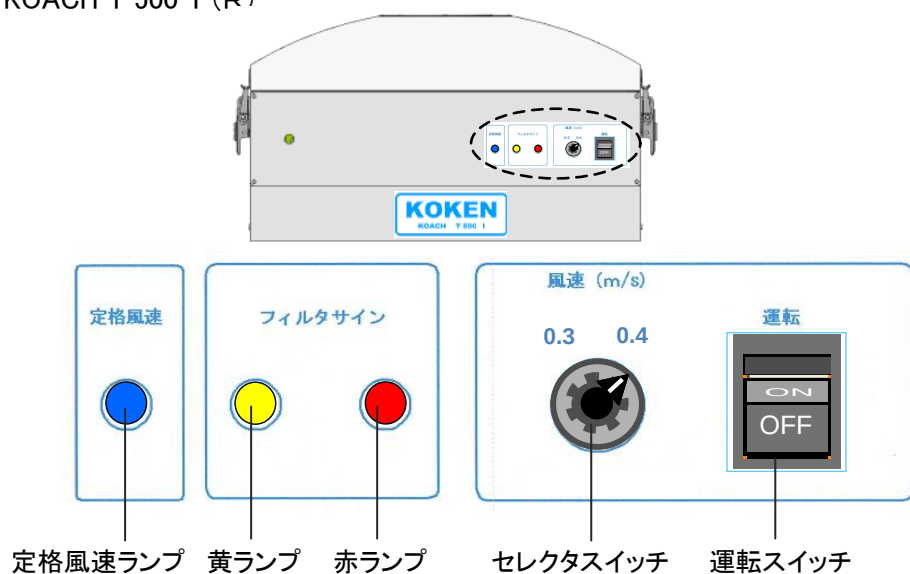
- メインフィルタと前処理フィルタは本製品に搭載されています。



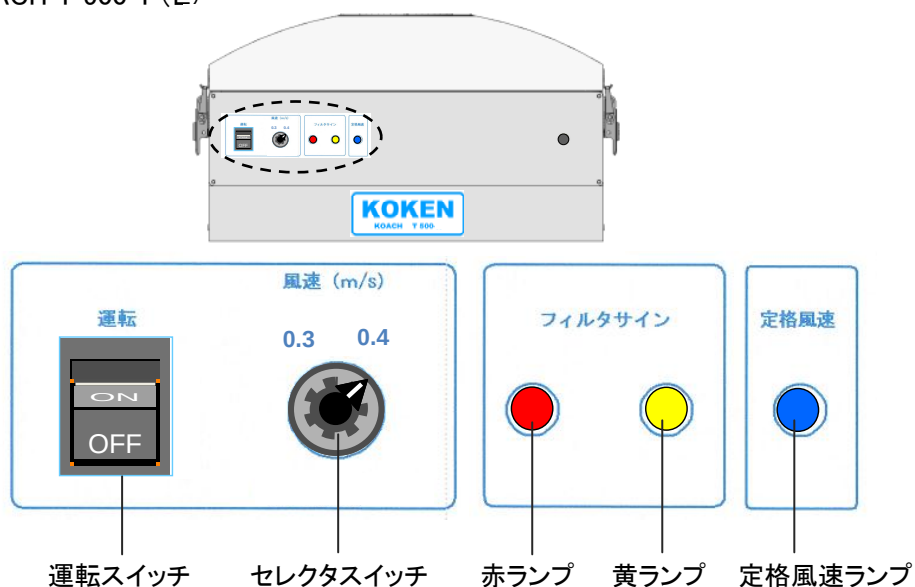
KOACH T 500-F(R)とKOACH T 500-F(L)の違いについて

	KOACH T 500-F (R)	KOACH T 500-F (L)
スイッチ・ランプの配置	下図に示す	下図に示す
電源ケーブル接続口の位置	吹出し開口面側から見て左側面	吹出し開口面側から見て右側面

KOACH T 500-F(R)



KOACH T 500-F(L)

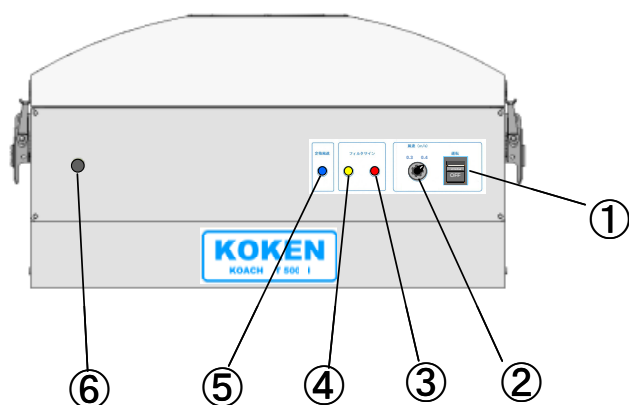


以下、KOACH T 500-F(R)とKOACH T 500-F(L)で取り扱いが同じ場合は、代表して(L)のスイッチ・ランプ部の図を記載します。

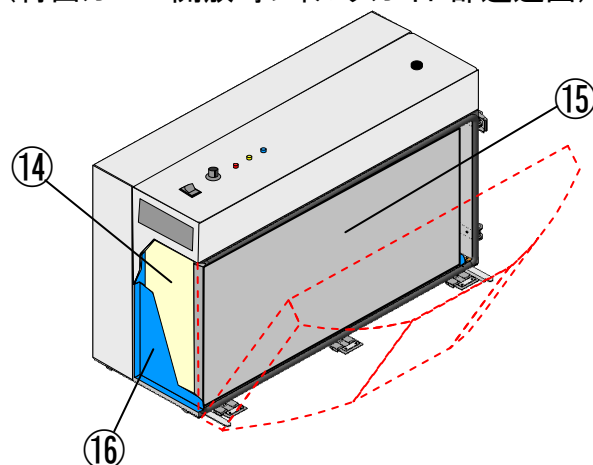
(2)各部の名称

テーブルコーチ KOACH T 500-F

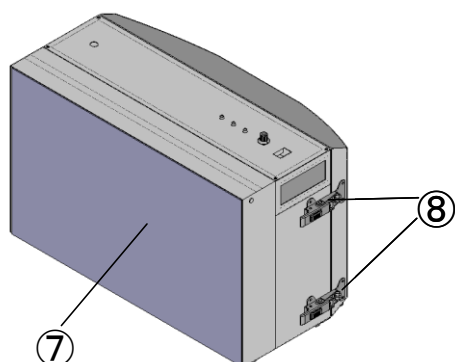
(上面図)



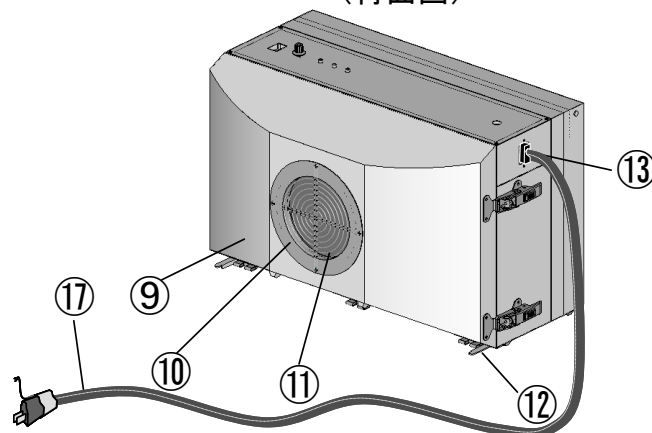
(背面カバー開放時フィルタガイド部透過図)



(正面図)



(背面図)



番号	名 称	番号	名 称
①	運転スイッチ	⑩	フィンガード
②	セレクトスイッチ	⑪	吸気口
③	フィルタサイン(赤)	⑫	転倒防止部品
④	フィルタサイン(黄)	⑬	電源ケーブル接続口
⑤	定格風速ランプ(青)	⑭	メインフィルタ
⑥	ヒューズホルダ	⑮	前処理フィルタ
⑦	吹出開口面(有孔板)	⑯	フィルタガイド
⑧	パチン錠	⑰	電源ケーブル
⑨	背面カバー		

(3)仕様

テーブルコーチ	KOACH T 500-F
---------	---------------

本体外形寸法	W541mm × D289mm × H334mm (筐体部: W500mm × D287mm × H318mm)	
吹出開口面寸法	W494mm × H306mm (吹出開口面下辺位置: 床上 7mm)	
重 量	約 28 kg (約 14 kg × 2 台)	
清 浄 空 間 ^{※1}	700mm 以内 (開口面間距離)	
吹 出 風 速	約 0.3 m/sec, 0.4 m/sec の 2 段階に調整可能	
フ ィ ル タ ^{※2}	メインフィルタ	FERENA
	前処理フィルタ	ELE-PRE
清 浄 度	ISO クラス 1	
電 源	単相 100V 50Hz/60Hz	
定 格 消 費 電 力 ^{※3}	70~220W (35~110W × 2 台)	

※1 清浄空間の開口面間距離は設定風速によって異なります。詳細は 15 ページを参照してください。

※2 交換が必要の際は 34 ページを参照してください。

※3 フィルタによる圧力損失及び設定風速に伴って、定格消費電力が変動します。

3. 設置・移設

危険

- 濡れた手で電源の接続、取りはずし、運転スイッチの操作を行わないでください。
感電のおそれがあります。
- 雰囲気中に引火性、爆発性のガスが存在する場所で使用しないでください。
火傷、けが、または破損のおそれがあります。
- アース接続してください。
アース接続しないで漏電した場合は、火災・感電のおそれがあります。また静電気による機器の故障及び誤作動の原因となります。

警告

- 電源プラグは、埃が付着していないか確認し、ガタつきや埃がたまらないように刃の根元まで確実に差し込んでください。
埃がたまった状態での使用や、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、単相 100V以外では使用しないでください。
タコ足配線等で定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

注意

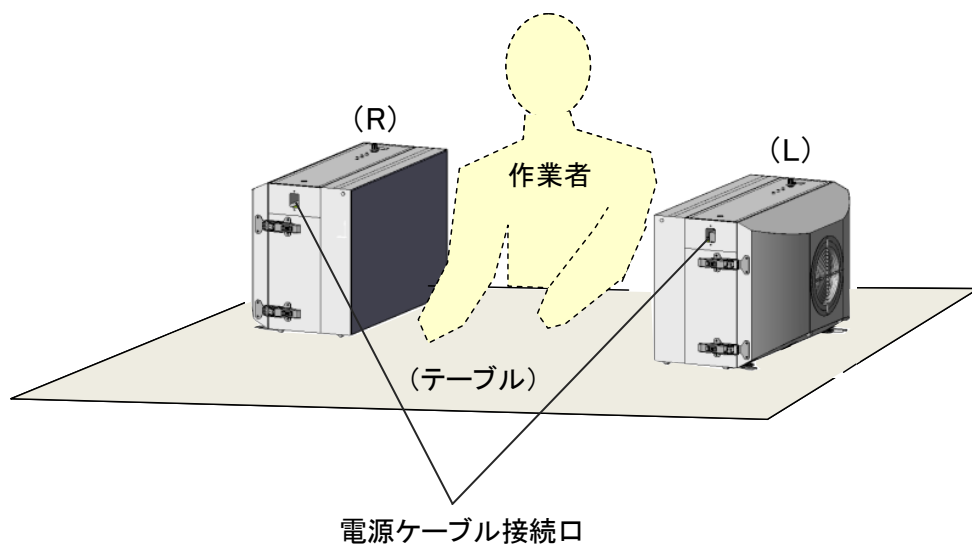
- 本製品の吹出開口面にある有孔板は非常につぶれやすい構造になっています。手や棒等で叩く、突く等の行為は絶対に行わないでください。
有孔板に傷やへこみがつくと、気流の発生を阻害し、性能を著しく低下させる原因になります。
- 梱包された状態での運搬は二人以上で行ってください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 開梱、設置及び移設は二人以上で行ってください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 水平で丈夫な場所に設置してください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品を設置場所に置く際に、本製品の底面全体が設置面に乗っていることを確認してください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品を移動する場合は、電源ケーブルをはずしてから移動してください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品を設置するときに、手や指を挟まないように注意してください。
けがのおそれがあります。

⚠ 注意

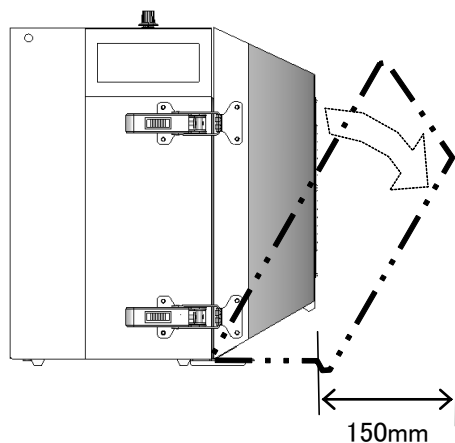
- 2 台の本製品を正対させてください。
本製品の位置や角度を変更すると、性能を著しく低下させる原因になります。
- 吸気口の近くに障害物を置かないでください。
吸気口がふさがれて、性能が低下する原因となります。
- 本製品の上にのったり、物をのせたりしないでください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品に衝突しないでください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品の電源ケーブルに重いものをのせたり引っ掛けたりしないでください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。

(1) 設置

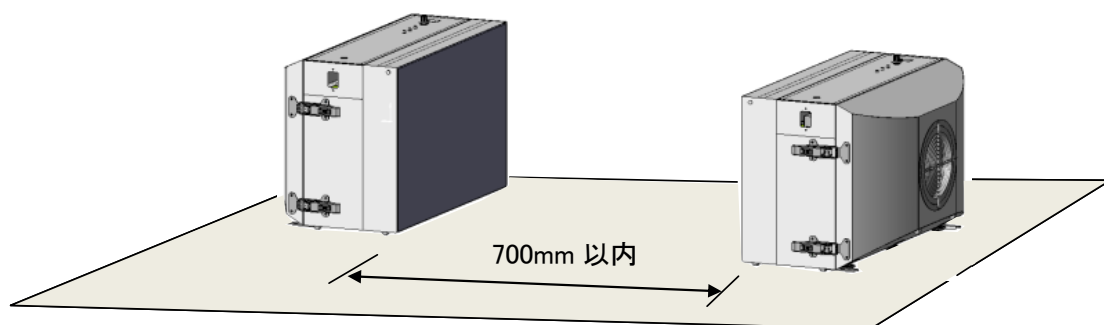
- ① 本製品を設置場所に乘せてください。この際、本製品が設置場所のテーブル等からはみ出さないようにしてください。また、電源ケーブル接続口が作業員から見て奥側になるように本製品を配置してください。



- ② 本製品の背面は、フィルタ交換時に開閉する構造になっており、また吸気口にもなっています。背面から 150mm のスペースを確保してください。



- ③ 本製品の対向距離を 700mm 以内で決定してください。

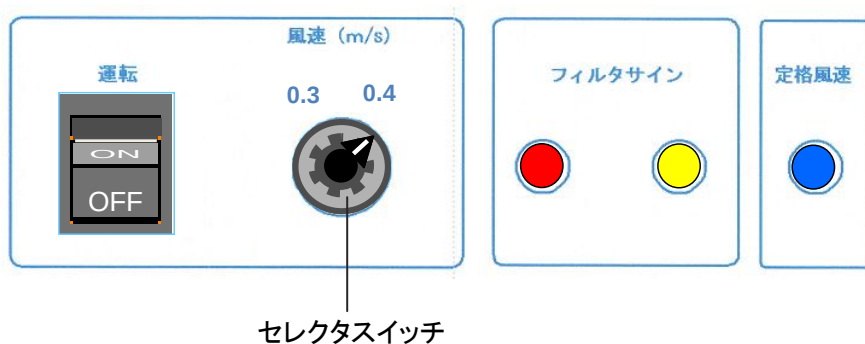


- ④ 2 台の本製品を決定した対向距離で正対させて設置してください。

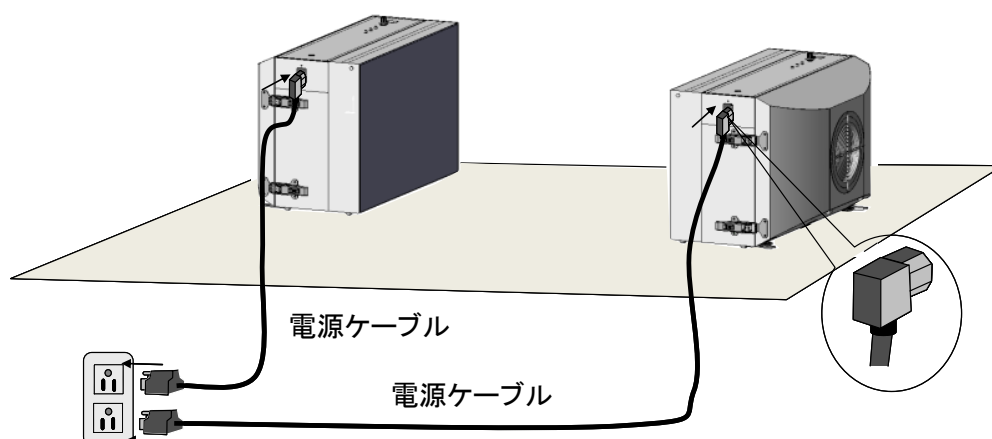
- ⑤ 下表にて設置した対向距離を元に設定風速を決定し、本製品の上面にあるセレクトスイッチを回して、決定した設定風速に合わせてください。
2 台とも同じ設定としてください。

対向距離 (mm)	設定風速 (m/s) [※]
700 以内	0.4
600 以内	0.3

※設定風速は必要に応じて段階を上げることが可能です。



- ⑥ 本製品の吸気口の近くに障害物がないことを確認してください。特に吸い込まれやすい物は注意してください。
- ⑦ 電源ケーブルを本製品の電源ケーブル接続口と室内コンセントに差し込んでください。この際アース接続も必ずしてください。



運転の際は【4. 運転】(17 ページ～)を参照してください。

(2)移設

- ① 電源ケーブルをはずしてください。
- ② 本製品を移動してください。
- ③ 【(1)設置】(13 ページ～)の手順と同様に、設置してください。

4. 運転

危険

- 濡れた手で電源の接続、取りはずし、運転スイッチの操作を行わないでください。
感電のおそれがあります。

警告

- 異常時(異音、異臭、過熱等)は、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店に連絡してください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因となります。
- 本製品を改造しないでください。
事故、火災のおそれがあります。
- 本製品が形成する清浄空間内で、コンタミナントを発生させないでください。また、有害物質やウィルス・細菌を扱わないでください。
本製品によってコンタミナント、有害物質、ウィルス等が周囲環境に拡散されてしまいます。
- 本製品に水がかかる場所では使用しないでください。
電気部品に水がかかると感電のおそれがあります。

注意

- 本製品の吹出開口面にある有孔板は非常につぶれやすい構造になっています。手や棒等で叩く、突く等の行為は絶対に行わないでください。
有孔板に傷やへこみがつくと、気流の発生を阻害し、性能を著しく低下させる原因になります。
- 吸気口の近くに障害物を置かないでください。
吸気口がふさがれて、性能が低下する原因となります。
- 本製品の上にのったり、物をのせたりしないでください。
落下によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品に衝突しないでください。
落下によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品の電源ケーブルに重いものをのせたり引っ掛けたりしないでください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品が形成する清浄空間に、空調等の外乱気流を直接当てないでください。
清浄空間を維持できなくなるおそれがあります。
- 使用する前に、フィルタが取り付けられていることを確認してください。
フィルタが取り付けられていないまま運転した場合は、清浄空間が形成できず運転が停止します。



注意

- 本製品を運転後、フィルタサインを確認してください。赤ランプ点灯の場合はフィルタ交換を行ってください。
清浄空間が形成できないおそれがあります。
- 本製品を運転後、定格風速ランプの点灯を確認してから作業を行ってください。
運転スイッチをONにしてから、または設定風速を変更してから、気流が安定するまで約 30 秒の時間がかかります。また、フィルタサインの赤ランプ点灯の場合は定格風速ランプが消灯します。定格風速ランプが点灯していないときは、清浄空間が形成されていません。
- 本製品の背面カバーをパチン錠 4 カ所で確実に固定してください。
パチン錠が 1 カ所でもはずれていると清浄空間が形成できません。
- ご使用になる前に、パーティクルカウンターで清浄度を確認してください。物品等を清浄空間内に配置する場合は、その状態で清浄度を確認してください。
清浄空間が形成できないおそれがあります。【5. 清浄度の確認】(21 ページ～)参照。
- 清浄空間内に作業者の手や頭を入れる体勢をとる場合は、体からのコンタミナントの発生を防ぐ衣類や手袋等を装着してください。
清浄空間を維持できなくなるおそれがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグに埃がたまり火災・感電の原因となることがあります。

(1) 設置状態の確認

本製品をはじめて使用するときは、運転前に必ず以下の事項を確認してください。

- ・ アース接続しましたか？
- ・ 電源ケーブルが作業の妨げになっていませんか？

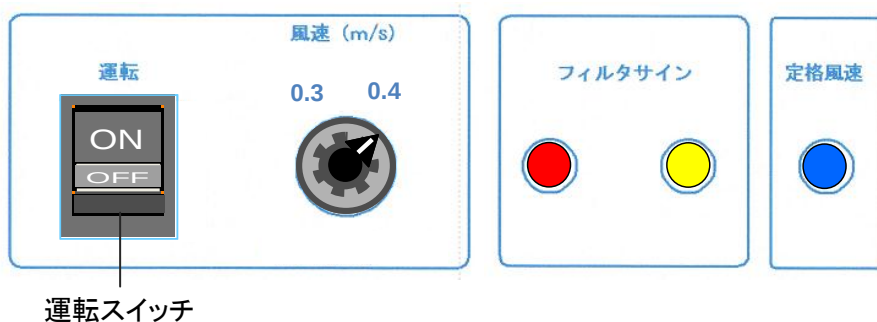
(2) 使用前の確認

- ・ 電源ケーブルは破損していませんか？
- ・ 吹出開口面の有孔板に傷やへこみはありませんか？
- ・ 本製品にフィルタが取り付けられていますか？
- ・ 2 台の本製品を正対させていますか？
- ・ 2 台の本製品の開口面間距離は、700mm 以内になっていますか？
- ・ 吸気口の近くに、障害物はありませんか？
- ・ セレクタスイッチは清浄度を確認したときと同じ設定になっていますか？
- ・ 清浄空間内に配置した物品等は清浄空間の形成を妨げていませんか？
- ・ 定格風速ランプは点灯していますか？
- ・ フィルタサインの赤ランプは点灯していませんか？
- ・ 異音はありませんか？

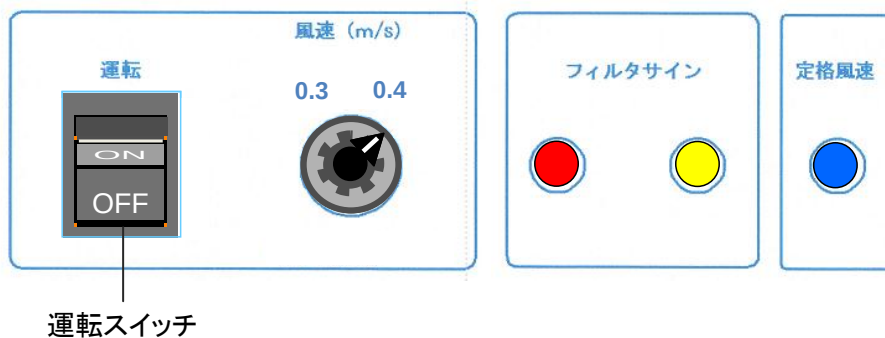
(3) 運転・停止

本製品上面の運転スイッチを 2 台とも操作して、ファンの運転・停止を行います。

➤ 運転時



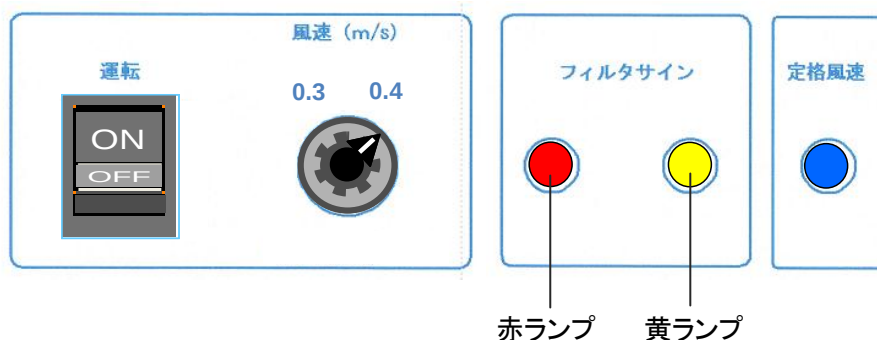
➤ 停止時



(4) 使用方法

- ① 運転スイッチを ON にした後、フィルタサインの状態を確認してください。

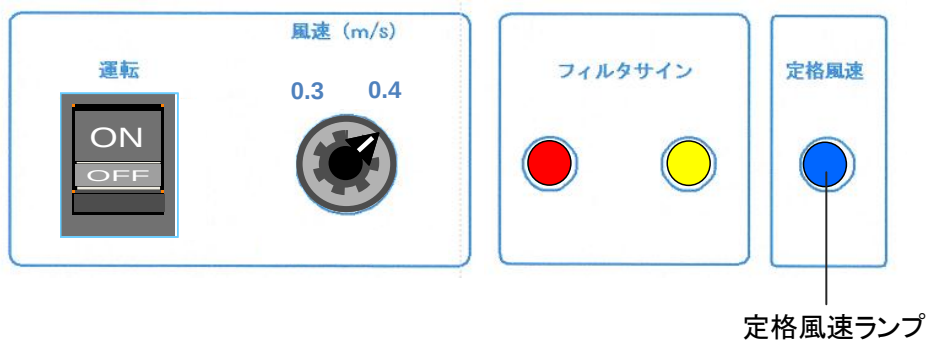
交換をお知らせする赤ランプが点灯している場合は、フィルタを交換してください。



- フィルタサインは、フィルタによる圧力損失の上昇に伴って黄色、赤色の順に点灯していきます。赤ランプ点灯の場合は【6.(2)フィルタ交換】(26 ページ～)を参照して、フィルタを交換してください。
- 黄ランプの点灯は、フィルタの交換時期が近いことを示しています。交換用のフィルタを用意してください。

② 定格風速ランプの点灯を確認してください。

運転スイッチ ON から点灯まで、約 30 秒の時間がかかります。

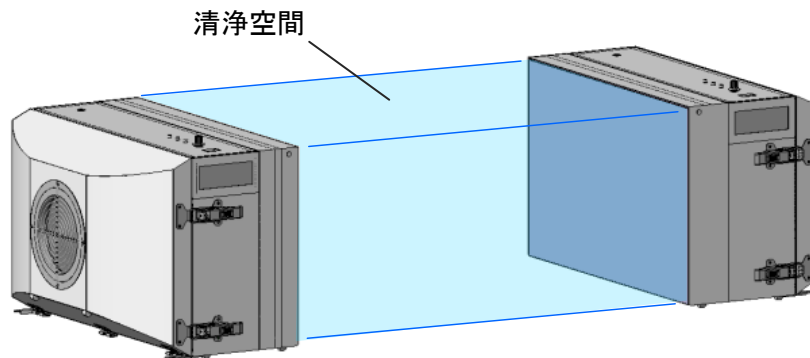


- 定格風速ランプ点灯時は、風速・風向きが安定した気流が形成されています。
フィルタの圧力損失上昇等で風速が低下すると、消灯します。
- 使用中は定格風速ランプが点灯しているか常時確認してください。点灯していない場合は、【7. 故障と異常時の処置】(31 ページ)を参照してください。

③ 清浄度の確認をしてください。確認方法は、【5. 清浄度の確認】(21 ページ～)を参照してください。

④ 本製品が形成する清浄空間内で、作業を行ってください。

また、物品や作業者の手などを清浄空間に入れる際に、それに伴ってコンタミナントが侵入するおそれがあります。その場合は、約 30 秒後に再び気流が安定してから作業を行ってください。



⑤ 使用後は、運転スイッチを OFF にしてください。

5. 清浄度の確認

危険

- 濡れた手で電源の接続、取りはずし、運転スイッチの操作を行わないでください。
感電のおそれがあります。
- アース接続してください。
アース接続しないで漏電した場合は、火災・感電のおそれがあります。また静電気による機器の故障及び誤作動の原因となります。

警告

- 異常時(異音、異臭、過熱等)は、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店に連絡してください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
- 本製品が形成する清浄空間内で、コンタミナントを発生させないでください。また、有害物質やウィルス・細菌を扱わないでください。
本製品によってコンタミナント、有害物質、ウィルス等が周囲環境に拡散されてしまいます。

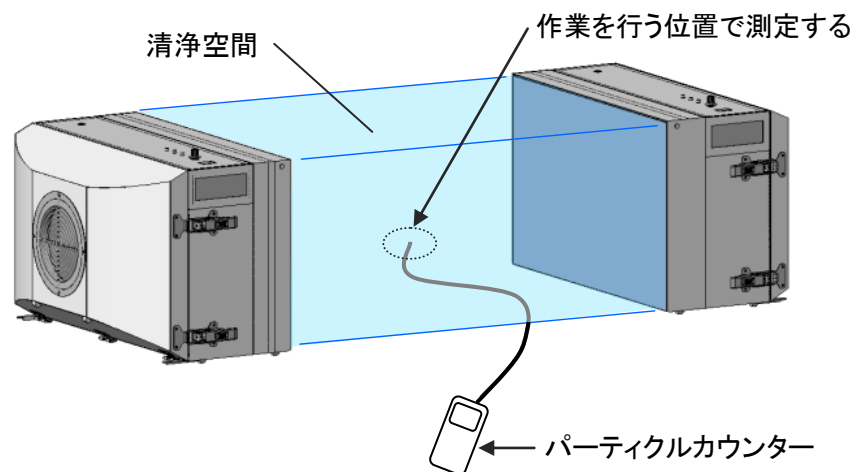
注意

- 本製品の吹出開口面にある有孔板は非常につぶれやすい構造になっています。手や棒等で叩く、突く等の行為は絶対に行わないでください。
有孔板に傷やへこみがつくと、気流の発生を阻害し、性能を著しく低下させる原因になります。
- 2台の本製品を正対させてください。
本製品の位置や角度を変更すると、性能を著しく低下させる原因になります。
- 吸気口の近くに障害物を置かないでください。
吸気口がふさがれて、性能が低下する原因となります。
- 本製品の上にのったり、物をのせたりしないでください。
落下によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品に衝突しないでください。
落下によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品の電源ケーブルに重いものをのせたり引っ掛けたりしないでください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品が形成する清浄空間に、空調等の外乱気流を直接当てないでください。
清浄空間を維持できなくなるおそれがあります。
- 使用する前に、フィルタが取り付けられていることを確認してください。
フィルタが取り付けられていないまま運転した場合は、清浄空間が形成できません。
- 本製品を運転後、フィルタサインを確認してください。赤ランプ点灯の場合はフィルタ交換を行ってください。
清浄空間が形成できないおそれがあります。
- 本製品を運転後、定格風速ランプの点灯を確認してから作業を行ってください。
運転スイッチをONにしてから、または設定風速を変更してから、気流が安定するまで約30秒の時間がかかります。また、フィルタサインの赤ランプ点灯の場合は定格風速ランプが消灯します。定格風速ランプが点灯していないときは、清浄空間が形成されていません。
- 本製品の背面カバーをパチン錠4カ所で確実に固定してください。
パチン錠が1カ所でもはずれていると清浄空間が形成できません。
- ご使用になる前に、パーティクルカウンターで清浄度を確認してください。物品等を清浄空間内に配置する場合は、その状態で清浄度を確認してください。
清浄空間が形成できないおそれがあります。【5. 清浄度の確認】(21 ページ～)参照。
- 清浄空間内に作業者の手や頭を入れる体勢をとる場合は、体からのコンタミナントの発生を防ぐ衣類や手袋等を装着してください。
清浄空間を維持できなくなるおそれがあります。

2 台の本製品が正常に機能することにより、清浄空間を形成します。
どちらかの性能が低下する等の問題が起こりますと、清浄空間が形成できなくなります。

下図のようにパーティクルカウンターを使用して、清浄空間内の清浄度を測定してください。
測定は、2 台の本製品を運転させて、定格風速ランプ点灯後に行ってください。また、測定点は、作業を行う位置としてください。

本製品は、周囲が ISO クラス 1～8 の環境下で、ISO クラス 1 の清浄空間を形成します。



- 0.1 μm の浮遊微粒子を測定できるパーティクルカウンターを用意してください(7 ページ参照)。
- 清浄度が低い場合は、【7. 故障と異常時の処置】(31 ページ)を参照してください。

6. 点検・フィルタ交換

危険

- 濡れた手で電源の接続、取りはずし、運転スイッチの操作を行わないでください。
感電のおそれがあります。
- 点検、清掃またはフィルタ交換をするときは、必ず運転スイッチをOFFにして、電源プラグを抜いてください。
感電、またはけがのおそれがあります。

警告

- 電源プラグは、埃が付着していないか確認し、ガタつきや埃がたまらないように刃の根元まで確実に差し込んでください。
埃がたまった状態での使用や、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

注意

- 本製品の吹出開口面にある有孔板は非常につぶれやすい構造になっています。手や棒等で叩く、突く等の行為は絶対に行わないでください。
有孔板に傷やへこみがつくと、気流の発生を阻害し、性能を著しく低下させる原因になります。
- 本製品の上にのったり、物をのせたりしないでください。
落下によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品に衝突しないでください。
落下によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品の電源ケーブルに重いものをのせたり引っ掛けたりしないでください。
落下、転倒によるけが、破損のおそれがあります。
- 本製品の背面カバーをパチン錠 4 カ所で確実に固定してください。
パチン錠が 1 カ所でもはずれていると清浄空間が形成できません。
- フィルタ交換の際は、弊社指定のフィルタを使用してください。
異なるフィルタを使用すると、性能が低下するおそれがあります。
- フィルタ交換の際は、マスク等を着用してください。
使用済みのフィルタに付着した微粒子を吸引するおそれがあります。
- フィルタ交換や定期点検の際に背面カバーを閉じるときは、指を挟まないように注意してください。
けがのおそれがあります。

(1) 定期点検

1 年以内ごとに 1 回、次の点検を行ってください。

〔フィルタサインと定格風速のランプ点検〕

背面カバーを開いたままの状態で運転スイッチをONにしてください。30 秒以内に運転が停止してフィルタサインと定格風速のランプが全て点滅しますか？

異常を発見した場合は、【7. 故障と異常時の処置】(31 ページ)の「確認事項と処置」の欄を参照してください。

その他、不具合がありましたら、販売店または最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

(2) フィルタ交換

本製品には、メインフィルタの FERENA と前処理フィルタの ELE-PRE が搭載されています。本製品上面にあるフィルタサインの赤ランプが点灯している場合は、フィルタの交換が必要です。

本製品のフィルタの交換については、前処理フィルタの交換が主となり、メインフィルタの交換が必要となることは稀です。フィルタサインの赤ランプが点灯した場合は、前処理フィルタを交換してください。前処理フィルタを交換しても赤ランプが点灯する場合は、メインフィルタを交換してください。なお、前処理フィルタの交換後に黄色ランプが点灯する場合は、メインフィルタの交換時期が近いことを示しています。

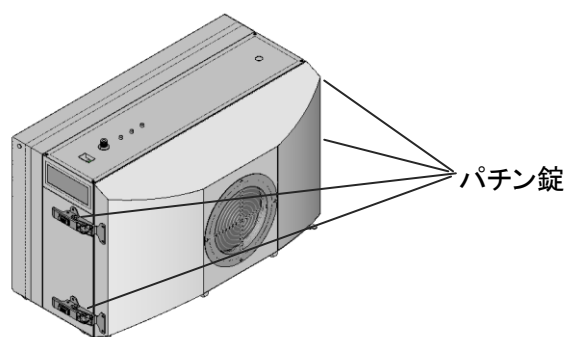
フィルタ交換は、運転スイッチをOFFにして、電源プラグを抜き、ファンの回転が停止していることを確認してから行ってください。

使用済みのフィルタに付着した微粒子がコンタミナントとなるおそれがありますので注意してください。

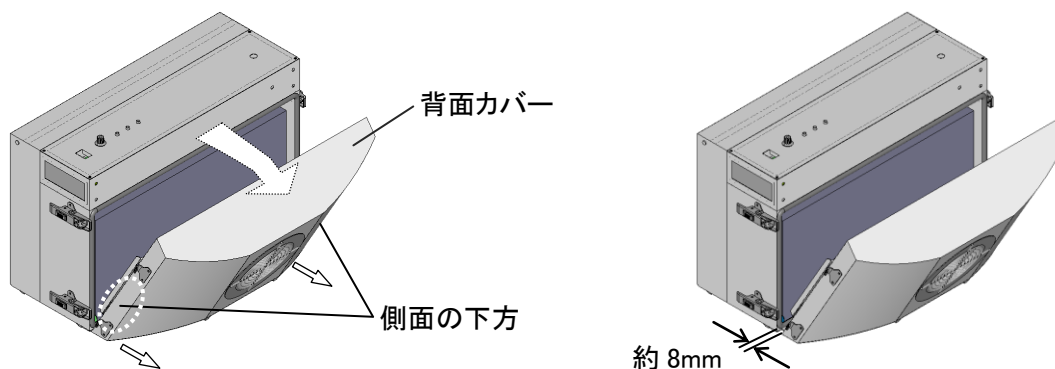
フィルタ交換後は、【5. 清浄度の確認】(21 ページ～)を参照して、必ず清浄度の確認を行ってください。

【前処理フィルタの交換方法】

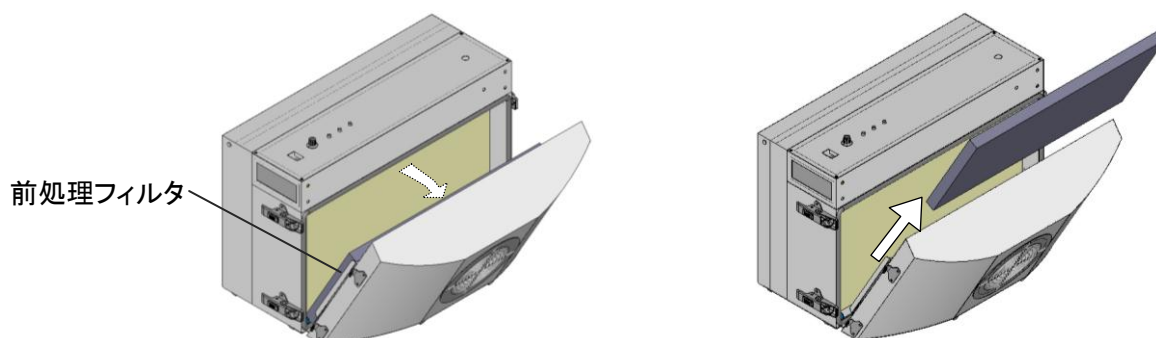
- ① 運転スイッチをOFFにしてください。
- ② 電源ケーブルを本体、またはコンセントから抜いてください。
- ③ 吸気口から中を見て、ファンの回転が停止していることを確認してください。
- ④ 背面カバーの左右側面にあるパチン錠をはずしてください。(4 カ所)



- ⑤ 手を添えながら背面カバーを手前に倒すようにゆっくり開いてから、両手で側面の下方を持ち背面カバー全体を手前にスライドしてください。スライド距離は約 8mm です。

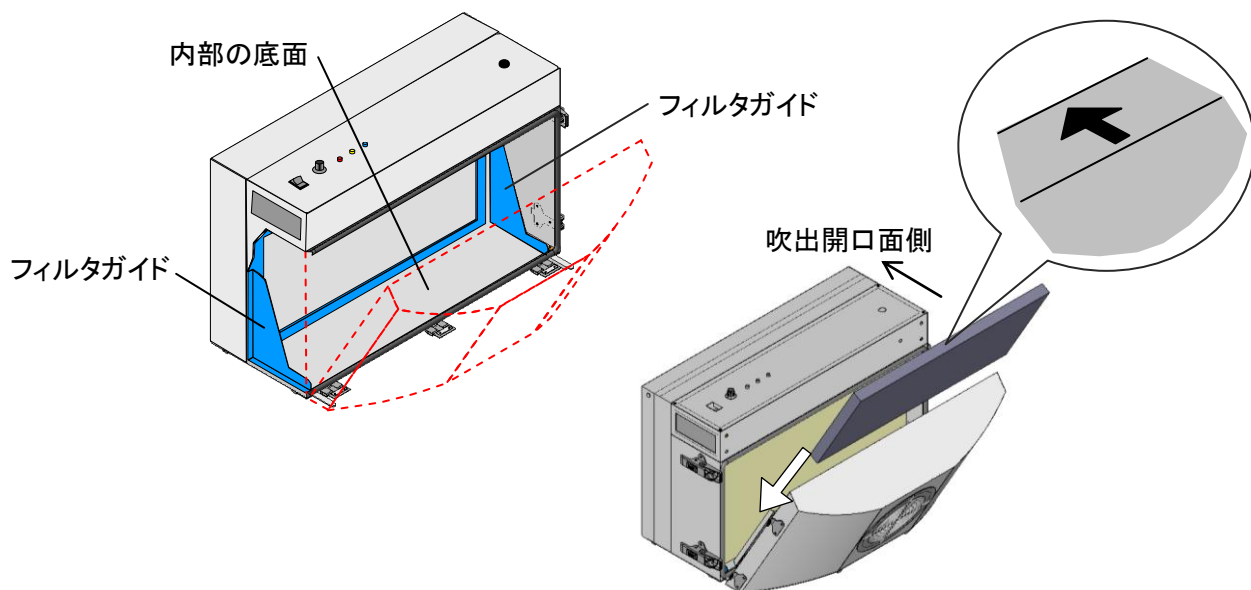


- ⑥ 前処理フィルタを背面カバー側へ倒してから上方へ持ち上げて取りはずしてください。

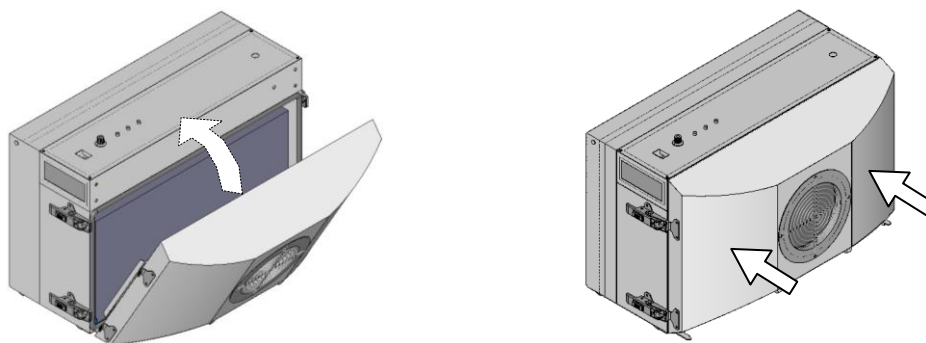


- ⑦ 新しい前処理フィルタを上から差し入れ、フィルタガイドの内側に入るようにしながら内部の底面と奥のメインフィルタに前処理フィルタがぴったりと接するように取り付けてください。このとき、フィルタに表記された気流の向きを表す矢印が吹出開口面側に向かうようにしてください。また、前処理フィルタのろ材部分を傷つけないように十分注意してください。フィルタが正しく装着されていない状態で無理に背面カバーを閉じようとするとうフィルタが破損してしまうおそれがありますので、必ず正しく装着してください。

(フィルタをすべて取りはずした状態のフィルタガイド部透過図)



- ⑧ 背面カバーを手前にスライドさせたままの状態ゆっくり閉じてください。このとき、約 8mm(スライド距離)の隙間ができます。両手で背面カバーを吹出開口面側へ押してスライドを元に戻し、隙間を閉じてください。



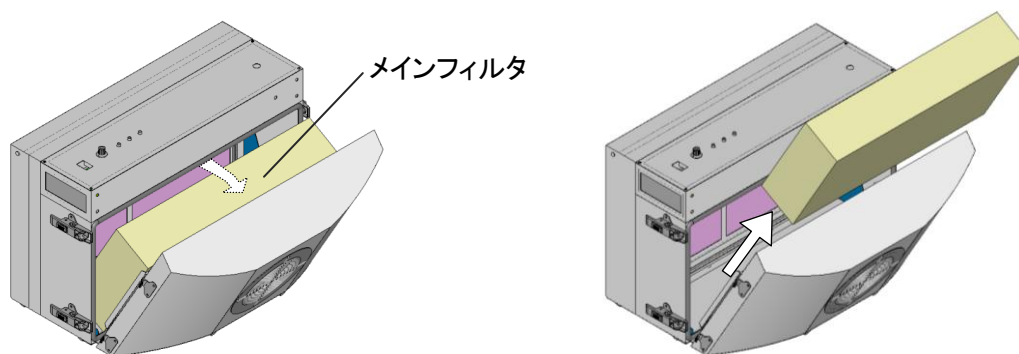
- ⑨ 左右側面にあるパチン錠を締めてください。(4カ所)

【使用済みフィルタの処理方法】

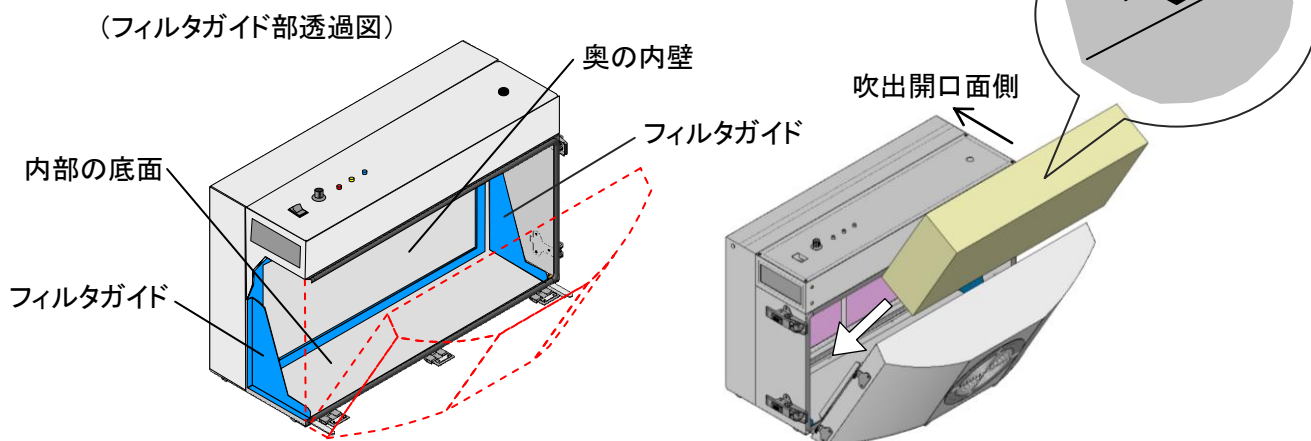
使用済みのフィルタは、捕集した微粒子の性質に応じた適切な処理をしてください。
なお、付着した微粒子が飛散ないように、密閉して廃棄してください。

【メインフィルタの交換方法】

- ① 運転スイッチをOFFにしてください。
- ② 電源ケーブルを本体、またはコンセントから抜いてください。
- ③ 吸気口から中を見て、ファンの回転が停止していることを確認してください。
- ④ 【前処理フィルタの交換方法】①～⑥(26、27 ページ)の手順と同様に、前処理フィルタを取りはずしてください。
- ⑤ メインフィルタを背面カバー側へ倒してから上方へ持ち上げて取りはずしてください。



- ⑥ 新しいメインフィルタを上から差し入れ、フィルタガイドの内側に入るようにしながら内部の底面と奥の内壁にメインフィルタがぴったりと接するように取り付けてください。このとき、フィルタに表記された気流の向きを表す矢印が吹出開口面側に向かうようにしてください。



- ⑦【前処理フィルタの交換方法】⑦～⑨(27、28 ページ)の手順と同様に、前処理フィルタを取り付けて、背面カバーを閉じてください。

【使用済みフィルタの処理方法】

使用済みのフィルタは、捕集した微粒子の性質に応じた適切な処理をしてください。
なお、付着した微粒子が飛散ないように、密閉して廃棄してください。

7. 故障と異常時の処置

異常が発生した場合には、修理を依頼される前に下記の内容を点検してください。

症状	確認事項と処置
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 電源プラグを確実に差し込んでください。
	ヒューズが切れていませんか？ 【7.(1)ヒューズ交換】(32 ページ)を参照して、ヒューズを交換してください。
本製品に触れると電気のショックがある	アース接続されていますか？ アース接続を確実にしてください。
	電源ケーブルが破損していませんか？ 運転スイッチを OFF にして、ブレーカを OFF にした後、販売店または最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。
定格風速ランプが点灯しない	フィルタサインの赤ランプが点灯していませんか？ 点灯している場合は、【6.(2)フィルタ交換】(26 ページ～)を参照して、フィルタを交換してください。
清浄度が低い	吹出開口面の有孔板が破損していませんか？ 気流の吹出し方向が変わってしまいます。販売店または最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。
	フィルタサインの赤ランプが点灯していませんか？ 点灯している場合は、【6.(2)フィルタ交換】(26 ページ～)を参照して、フィルタを交換してください。
	吸気口がふさがれていませんか？ 吸気口をふさぐ障害物を取り除いてください。
	外乱気流の影響はありませんか？ 空調等の気流を直接当てないようにしてください。
	2台の本製品は正対していますか？ 本製品の高さや位置を合わせてください(6 ページ参照)。
	本製品の開口面間距離が広がっていませんか？ 開口面間距離を 700mm 以内にしてください。位置の修正は、【3. 設置・移設】(12 ページ～)を参照してください。
	背面カバーのパチン錠がはずれていませんか？ 背面カバーをパチン錠 4 ヶ所で確実に固定してください。
	設定風速が開口面距離に対して間違った設定になっていませんか？ 【3.(1)設置⑤】(15 ページ)を確認し、正しく設定してください。
フィルタサインと定格風速のランプが点滅し運転が停止する	フィルタが取り付けられていますか？ 【6.(2)フィルタ交換】(26 ページ～)を参照して、フィルタを取り付けてください。
	背面カバーが開いていませんか？ 背面カバーをパチン錠 4 ヶ所で確実に固定してください。

- 上記の処置を行っても改善されない場合や、この他の症状が起こった場合は、販売店または最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

⚠ 注意

- ヒューズ交換の際は、本書に記載している仕様のヒューズを使用してください。
異なるヒューズを使用すると、故障するおそれがあります。

(1) ヒューズ交換

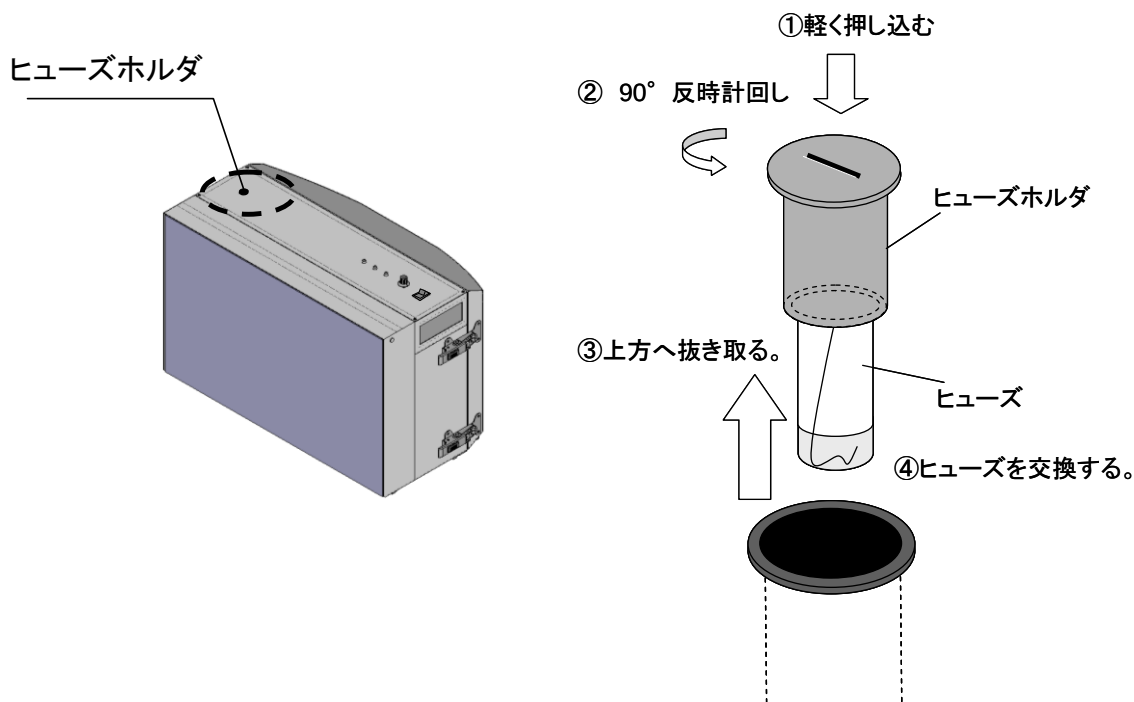
本製品には、過電流からの保護のためヒューズを内蔵しています。ヒューズが切断した場合は、ヒューズ交換を行なってください。

ヒューズ交換は、運転スイッチをOFFにして、電源プラグを抜き、ファンの回転が停止していることを確認してから行ってください。

ヒューズの仕様	φ5.2×20 125V 4A
---------	-----------------

【ヒューズ交換方法】

- ① 運転スイッチをOFFにしてください。
- ② 電源ケーブルを本体、またはコンセントから抜いてください。
- ③ 吸気口から中を見て、ファンが回転していないことを確認してください。
- ④ 本製品の上面にあるヒューズホルダを、(－)ドライバを使ってはずしてください。
- ⑤ 外したヒューズホルダに差し込まれているヒューズを抜き取ってください。
- ⑥ ヒューズホルダに新しいヒューズを差し込んでください。
- ⑦ 本製品に(－)ドライバを使ってヒューズホルダを取り付けてください。

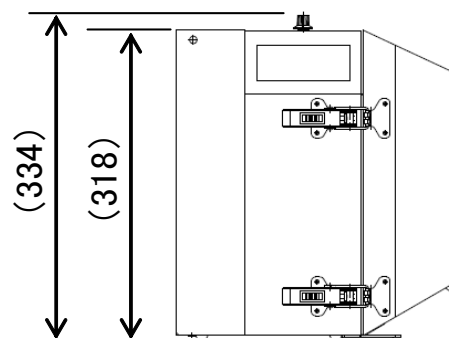
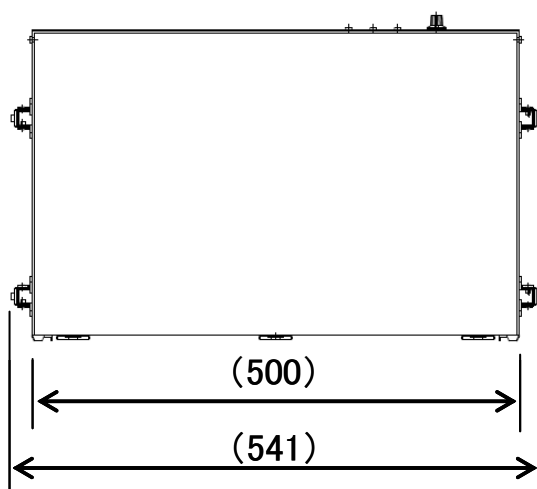
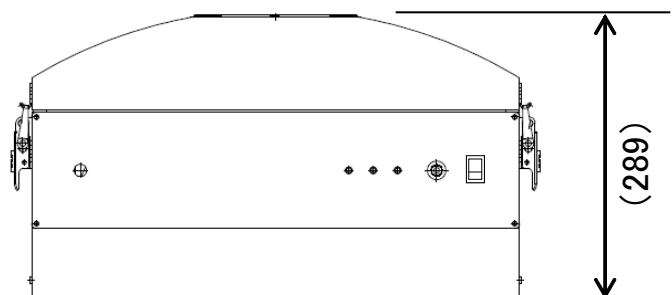


8. その他

(1) 外形図

テーブルコーチ KOACH T 500-F(R)

* KOACH T 500-F(L)も同じ寸法です。



(2)消耗品リスト

メインフィルタ

品 名	数量	販 売 単 位
KOACH T 500-F 用 FERENA	2 個	1セット

前処理フィルタ

品 名	数量	販 売 単 位
KOACH T 500-F 用 ELE-PRE	2 個	1セット

- フィルタ交換の際は、弊社指定のフィルタを使用してください。
ご注文の際は、販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

9. 保証について

- (1) 本書は、本製品の納入日より保証書記載の期間内において、取扱説明書、本体貼付ラベル等の記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間内に故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。ただし、本製品の運用によって生じた直接または間接の損害等につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (2) 保証期間中でも次のような場合は有償修理となります。
- 【1】使用上の誤りまたは改造や不当な修理による故障または損傷
 - 【2】地震、水害、その他の天災、火災による故障または損傷
 - 【3】納入後の衝突、落下等による故障または損傷
 - 【4】異常電圧、指定外の使用電源（電圧）の使用等、異常な条件下での使用による故障または損傷
 - 【5】保証書の提示のない場合
- (3) 本保証書を紛失された場合、または納入年月日、販売店名のないものは無効となります。
- (4) 本保証書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- (5) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- (6) 出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費をご請求申し上げます。

保 証 書

品 名	KOACH T 500-F	製 造 番 号	
※納入年月日		保 証 期 間	1 年 間
お 客 様	ご名称／お名前		
	ご住所	〒	
	TEL		

※ 販売店

・保証書は、必ず「納入年月日・販売店名」の記載を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

・販売店さまへ
※印欄は必ず記入してお渡してください。

 **興 研 株 式 会 社**

販売店

・お問い合わせは販売店までご連絡ください。販売店が分からないときは下記へご連絡ください。

■ 営業所

○北海道営業所	〒062-0904	札幌市豊平区豊平四条8-2-16グレース1ビル1F	TEL.011(832)3911	FAX.011(814)1941
○仙台営業所	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈1-1-20グランビューハ乙女中央102	TEL.022(374)0420	FAX.022(374)0427
○新潟営業所	〒950-0914	新潟市中央区紫竹山2-4-49渡辺ビル2F	TEL.025(255)0121	FAX.025(255)0122
○千葉営業所	〒266-0033	千葉市緑区おゆみ野南2-20-1	TEL.043(293)0411	FAX.043(293)0410
○熊谷営業所	〒360-0012	熊谷市上之806-1	TEL.048(524)2928	FAX.048(525)7501
○東京営業所	〒102-0081	千代田区四番町7山名ビル	TEL.03(5276)8063	FAX.03(5276)8091
○横浜営業所	〒220-0061	横浜市西区久保町5-20	TEL.045(242)6566	FAX.045(242)6580
○名古屋営業所	〒464-0850	名古屋市千種区今池1-26-29 ウイングオカドビル	TEL.052(753)7872	FAX.052(753)7882
○大阪営業所	〒533-0033	大阪市東淀川区東中島1-17-18	TEL.06(6326)9223	FAX.06(6326)9227
○神戸営業所	〒652-0804	神戸市兵庫区塚本通6-2-24	TEL.078(511)0414	FAX.078(515)0360
○倉敷営業所	〒710-0842	倉敷市吉岡273	TEL.086(423)2321	FAX.086(425)4751
○広島営業所	〒734-0023	広島市南区東雲本町3-4-3	TEL.082(283)7880	FAX.082(285)5973
○新居浜営業所	〒792-0012	新居浜市中須賀町1-2-34	TEL.0897(34)8927	FAX.0897(37)1858
○九州営業所	〒830-0037	久留米市諏訪野町1903-20	TEL.0942(38)1651	FAX.0942(38)1477
○長崎駐在員事務所	〒852-8134	長崎市大橋町15-8	TEL.095(844)8406	FAX.095(844)8426



興研株式会社

環境エンジニアリングディビジョン

〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地

TEL 03(5276)1931 FAX 03(3265)1976

URL <http://www.koken-ltd.co.jp>

E-mail kankyo@koken-ltd.co.jp

2012年9月
OM KHT500-4